

# Chefを使うなら知っておいた方が便利なn個の Cookbook

西田雄也

松江Ruby会議05

自己  
紹介

**仕事はRuby**

**と**

**JavaScript**

趣味

**Chef**

**とか**

**Vagrant**

**とか**

その辺で  
遊んでい  
ます

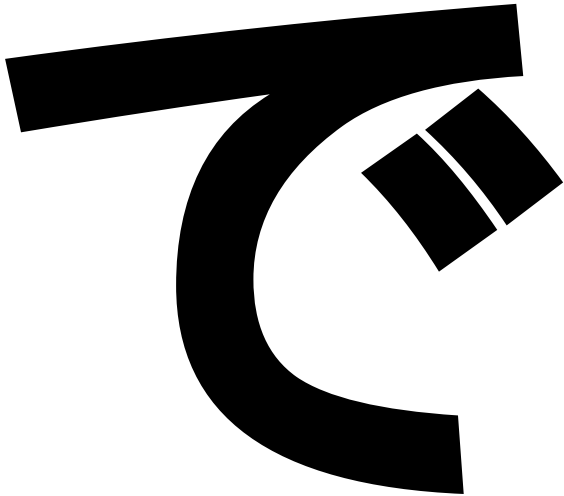
**Chef使っ  
ている人**



サーバ構成  
変更ツ  
ール

他人の

**Cookbook**



楽しんで  
きる

# 他人のふんど<sup>h</sup><sup>h</sup><sup>h</sup> Cookbook

---

- (程度の差はあるけど) よく作り込まれているものが多い.
- Node Objectに書くだけでインストール・設定できる.
- 追加Resourceが使えるようになる.
- クロスプラットフォームで同じように書ける. Debian系とRedHat系とか

い く  
つ か

便利な

Cookbook

の

紹介



**database**

# database

---

- 各種RDBMSのためのCookbook
- データベースの作成 (database Resource)

```
database "redmine_production" do
  provider Chef::Provider::Database::Postgresql
  connection {...} # 接続先ホストとか...省略
  owner "redmine"
  encoding "UTF8"
  action :create
end
```

# database

---

- 各種RDBMSのためのCookbook
- データベースユーザの作成  
(database\_user Resource)

```
database_user "redmine" do
  provider Chef::Provider::Database::PostgresqlUser
  connection {...} # 接続先ホストとか...省略
  password node["redmine_database_password"]
  privileges [:select, :update, :insert]
  action :create
end
```

**rbenv**

# rbenv

---

- やれること
  - rbenvそのもののインストールやruby-buildによるrubyのインストール
  - rbenvで管理しているRubyにgemをインストール
  - ユーザごとにrbenvインストール
- Chef社が出しているもの **じゃない** ものが特に便利

```
# Berksfile
cookbook "rbenv", github: "fnichol/chef-rbenv" 20/33
```

# rbenv

---

- 使うRubyのバージョン指定ができるscript Resourceがある.

```
rbenv_script "migrate_rails_database" do
  rbenv_version "2.1.1"
  user          "redmine"
  group         "redmine"
  cwd           "/opt/redmine/current"
  code          %{rake RAILS_ENV=production db:migrate}
end
```

**build-  
essential**

# build-essential

---

- Cのコンパイル環境が必要な場合はこの Cookbook
  - rubyをビルドするとき
  - 拡張ライブラリが入ったgemをインストールするとき
  - その他もろもろ



# build-essential

---

- Cのコンパイル環境が必要なCookbookで依存していることが多いCookbook.
- gccやmakeが **早い** 段階で必要な場合は次のような指定を行う.

```
# nodes/HOST.json
...
  "build_essential": {
    "completetime": true
  },
...
```

**gem\_binary**

# gem\_binary

---

- 他人のCookbookでgemがインストールされるときに使うgemコマンドのパスを指定するのに使ったりする.
- 通常（使わないとき）はChefが動作するときのRubyが使うgemにインストールされる.
  - debパッケージでChefを入れた場合はdebパッケージに同梱されているgemにインストールされる.
- 自分のCookbookであればrbenv Cookbookのrbenv\_gem Resourceを使えばいいでしょう

# gem\_binary

---

```
# Berksfile
cookbook "gem_binary",
  github: "royratcliffe/gem_binary-cookbook"

# nodes/HOST.json
...
"gem_binary": "/usr/bin/gem1.9.1",
...
```

口力一  
ル関連

# ロカール関連

---

- ロカール関連Cookbook
  - locale-gen ロカールの生成
  - locales 設定変更
- ロカールがen-USになっているときにja\_JP.UTF-8にするために使用する。
  - 例えばどこかから拾ってきたVagrantのBoxがen-USになっているときとか。

# ロカール関連

---

```
# nodes/HOST.json
...
"localegen": {
  "lang": [
    "ja_JP.UTF-8 UTF-8"
  ]
},
"locales": {
  "default": "ja_JP.UTF-8",
  "available": [
    "ja_JP.UTF-8 UTF-8"
  ]
},
...
```

ま と

め



# まとめ

---

- 他人のふんど<sup>^h^h^h</sup>Cookbook怖くない。
  - Serverspecでサーバの振舞いを記述すればよい。
  - 自前で書いても数ヶ月・数年先には忘れる。
- README.mdに使い方書いてあるし、なかったらrecipe/default.rbとかを読めばおk
- 自分の管理ポリシーに合わせられなかったら合うように修正してより汎用的にできたらpull-requestしましょう。

ご静聴ありがとうございました